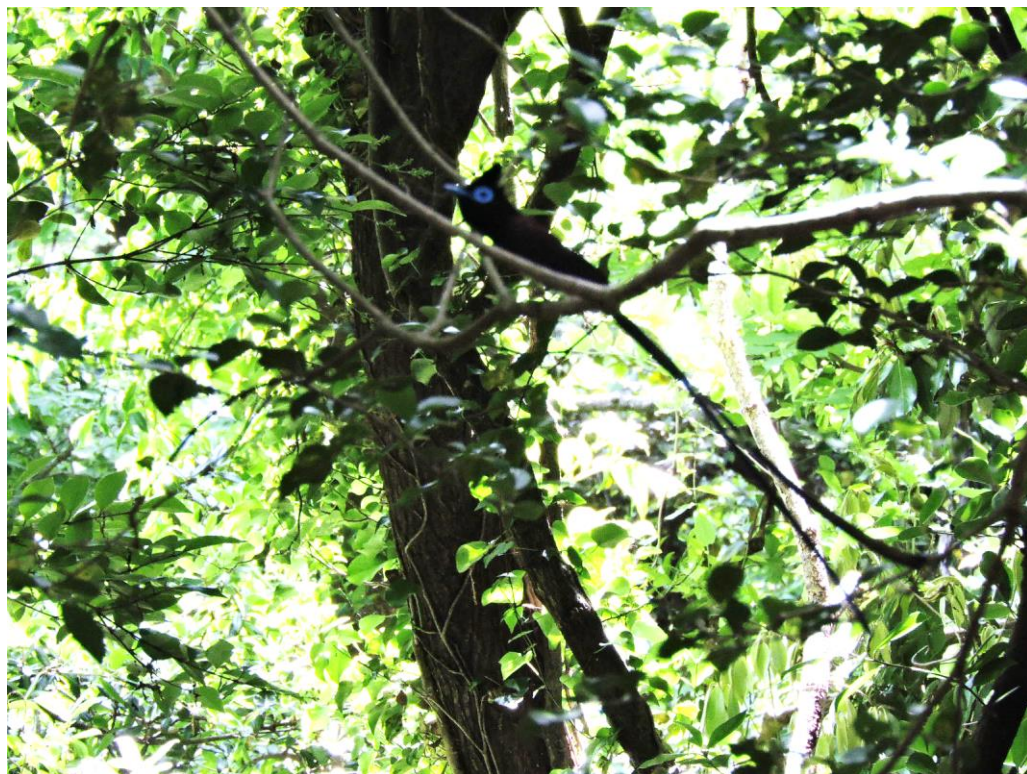


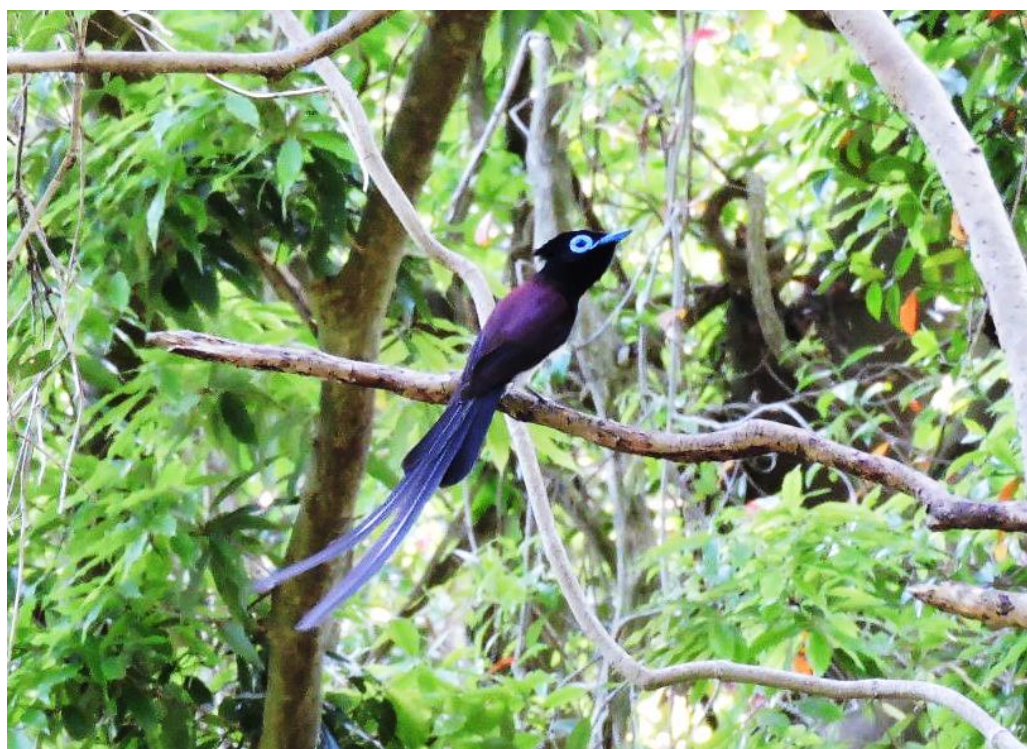
# 令和3年6月号 (R3年5月撮影)

## 1. サンコウチョウ【三光鳥】 (スズメ目カササギヒタキ科) (渥美半島にて撮影)

全長は雄が約45cm (繁殖期)、雌が17.5cm。繁殖期のオスは、体長の3倍ぐらいの長い尾羽をもっています。今年もまたサンコウチョウがもどってきました。目の周りは青く、嘴も青色をしていて、漫画チックな顔をしています。雄は写真のように長い尾羽を持っていますが、また南へ帰っていく頃には、長い尾羽はなくなっています。二枚目の写真は、少し尾羽が短い個体ようです。サンコウチョウはスギやヒノキの皮を使ってカップ型をつくり、周りに苔をクモの巣の糸で上手にとめた巣を作ります。なので広葉樹と針葉樹が混ざっているような薄暗い森にいる事が多いです。雨の日は道路際の街灯にとまって水浴びしたりすることもあります、



あまり森から出ることはないようです。5月になると、南からサンコウチョウ、アカショウビン、オオルリ、コルリ、キビタキ、コマドリなどもやってきます。なかなか街中では見れない鳥たちですが、まだ渥美半島ではこれらの鳥たちが毎年帰ってきています。ただコマドリやコルリなどは年々個体数が減ってきているように思います。ここ数年はコマドリ、コルリを写真でとろうと頑張っていますが、声はすれどもなかなか姿を拝めないことが



多いです。もちろん運や天気にも左右されることもありますが、やはり自然環境の変化でしょうか。アカショウビンなんかは姿を見せることがどんどん減っているように思います。今年は梅雨入りがいつもよりだいぶ早く、どんな夏になるのでしょうか？